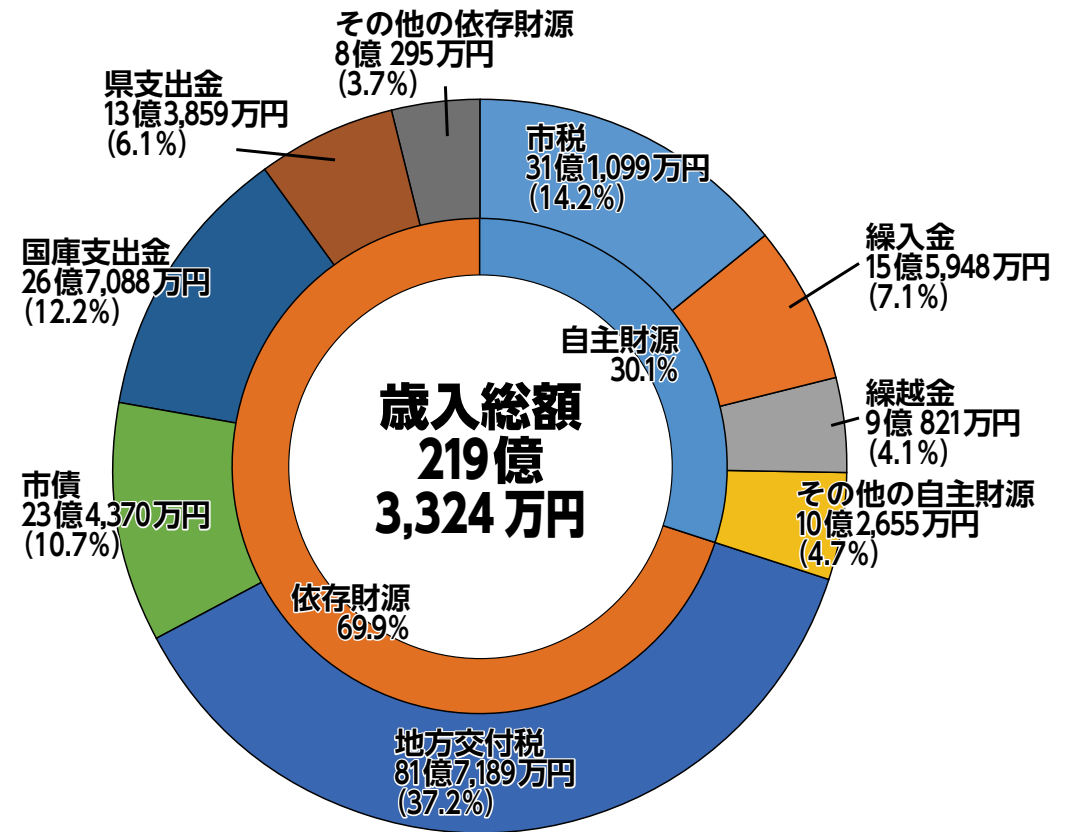


9月10日から10月2日まで開かれた市議会第3回定例会で、平成29年度の一般会計など9会計の決算が認定されました。ここでは、決算の内容を財政の健全度を示す各種指標と併せて紹介します(金額は、1万円未満を四捨五入しています)。

歳入



自主財源…市が自主的に収入できる財源 依存財源…国や県などから交付される財源

※各数値は、1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。

平成29年度特別会計・企業会計の決算状況

会計名	収入額	支出額
国民健康保険(事業勘定)	39億7,300万円	38億6,455万円
国民健康保険(診療施設勘定)	2億4,692万円	2億2,150万円
後期高齢者医療	2億7,021万円	2億6,856万円
公共下水道事業	5億1,472万円	4億6,141万円
農業集落排水事業	6億2,238万円	6億686万円
浄化槽事業	6,473万円	5,913万円
水道事業	収益的収支	5億7,497万円
	資本的収支	2億1,566万円
西根病院事業	収益的収支	8億4,451万円
	資本的収支	1億1,815万円

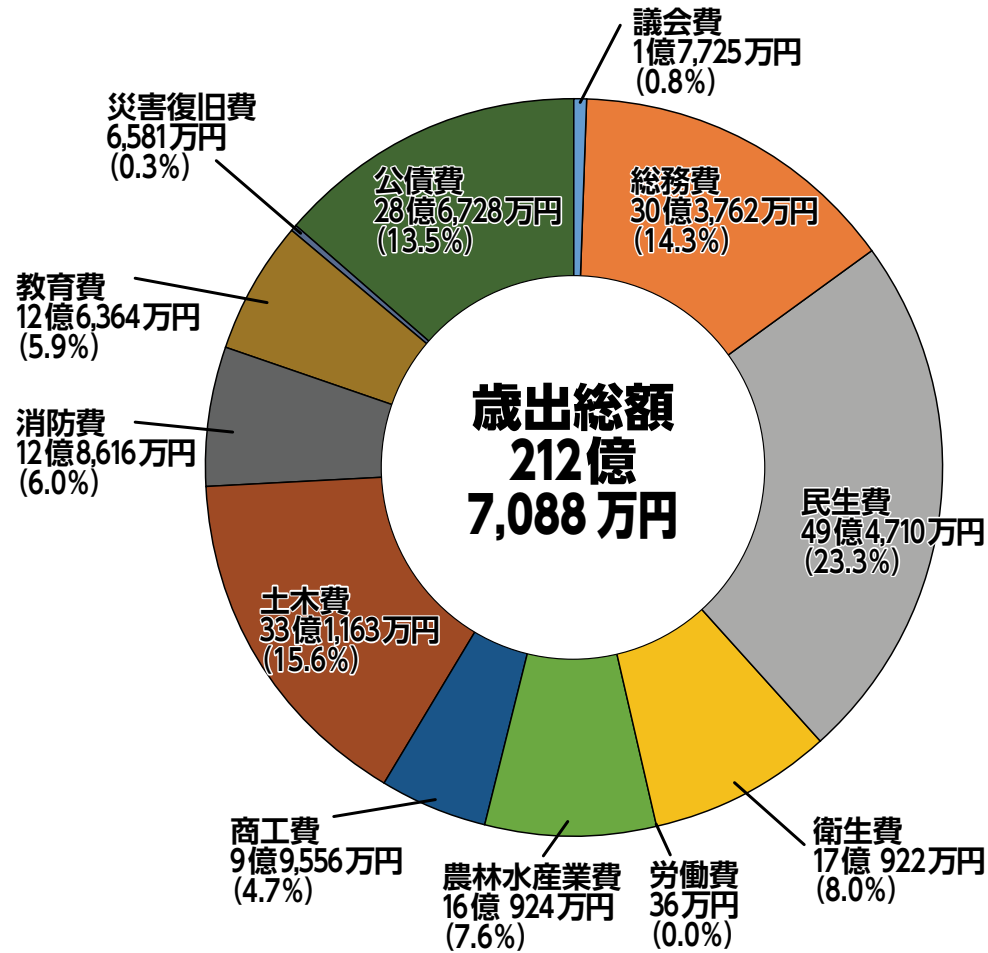
歳入 前年度に比べ自主財源比率が0.3%の上昇

29年度の一般会計の歳入(収入)は、219億3,324万円でした。一番多くの割合を占めるのは、地方交付税の81億7,189万円(37.2%)で、前年度より4億1,249万円(対前年度比4.8%減少)となっています。次に多いのが、市税の31億1,099万円(14.2%)、対前年度比2.2%増で、3番目が国庫支出金の26億7,088万円(12.2%)、対前年度比31.5%増でした。

歳出 防災行政無線などを整備 消防費が62.3%の増加

一般会計の歳出(支出)は、212億7,088万円でした。

歳出



財政の健全度を表す指標

- ① 経常収支比率** 人件費や扶助費、公債費の義務的経費などに充てる一般財源の額を一般財源の総額で割ったものです。数値が低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。
 - ② 財政力指数** 市税などの基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3カ年の平均値です。数値が高いほど財源に余裕があることを示しています。
 - ③ 実質公債費比率** 地方債の償還金などを標準財政規模で割ったものです。本市は前年度より1.8%多い12.7%です。
 - ④ 将来負担比率** 現在抱えている負債の大きさを標準財政規模で割ったものです。本市は前年度より2.2%多い8.6%です。
 - ⑤ 資金不足比率** 下水道など公営企業会計の資金不足を事業の規模と比較したものです。本市は資金不足の会計はありません。
- ※標準財政規模とは
市が標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入などに普通交付税を加算した額となります。財政の指標となる③から⑤までの比率を計算するための分母となる数字です。

歳出で一番多くの割合を占めるのが、民生費の49億4,710万円(23.3%)で、子育て支援、障がい者や高齢者の福祉サービス、生活保護などのために使われました。次に多いのが、土木費の33億1,163万円(15.6%)で、除雪や橋梁補修、市道改修などを行いました。

グラフにはありませんが、財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度より4.0%上昇し、92.6%、財政力指数は前年度と同じ0.29でした。また、地方債残高は前年度より4億3,407万円減少し、174億9,277万円となりました。

市は、より一層の経費削減などに努め、今後も効率的な財政運営を目指していきます。

詳しくは、市役所企画財政課財政係(☎内線1205)まで。